

I C T街づくり推進会議 地域懇談会@鹿児島県三島村 議事要旨

1. 日時

平成28年3月16日(水) 16:45~18:30

2. 場所

アクアガーデンホテル福丸(鹿児島県鹿児島市)

3. 出席者

(1) I C T街づくり推進会議構成員

岡座長、辻田氏(岩沙構成員代理)、牧野氏(石原構成員代理)

(2) 事業関係者

大山三島村長、岩切同村副村長、大山同村総務課長、宮田同村定住促進課長、日高同村定住促進課係長、山崎特定非営利活動法人みしまですよ代表理事

(3) 総務省

山田情報通信国際戦略局長、丹代九州総合通信局長

4. 議事

(1) 事業概要の説明

(2) デモンストレーション、視察

(3) 意見交換

5. 議事概要

(1) 事業概要の説明

日高三島村定住促進課係長より、資料1に基づき、システム概要や事業内容について説明が行われた。

(2) デモンストレーション、視察

クラウドを活用した農産物の地産地消システムのデモンストレーション、視察が行われた。

(3) 意見交換

主な発言は以下のとおり。

【岩切三島村副村長】

- スマートフォンなどを活用して情報をアップロードする仕組みを追加することも検討している。リアルタイムで収穫や購入希望の情報を発信し、それに合わせて船の流通機能を活用した配送ができるような仕組みができれば、これまでより更に広い規模の流通が可能。
- インターネット販売については、まずはある程度大口のユーザを対象として始めていくことを考えている。個人の購入者については、すでに都市部で村の商品販売を実際に行っているが、三島村に興味のある方々にシステムを紹介するなど積極的にPRすることによって、大口の組織的な購入者から個人の購入者へ拡大していきたいと考えている。

【山崎特定非営利活動法人みしまですよ代表理事】

- 野菜の集荷や発送等の人材確保は大きな課題の1つ。今回のシステムを活用することで、自給率を上げ、村内での流通も活発にしていきたい。
- インターネットによる個人向けの販売については、既存のインターネットショッピングも活用しつつ、ファンクラブを作るなどして会員向けにより安く購入できるこのシステムを紹介するなど、使い分けができれば良いと考えている。

【牧野氏（石原構成員代理）】

- PRの際には、島の名称や自然をアニメと関連付けたり、本土では提供が難しいサービスを特区として行ったりするなど、三島村ならではの取組に挑戦して頂けると良いと思う。

【大山三島村村長】

- 人材育成は大きな課題。定住促進のため、本年度も地域おこし協力隊の募集を進めており、一部は定住に結びついている。少ない人員でも、効率よく輪が広がり、一人でも多くの定住希望につながればと思っている。小さな村ではあるが、現実をしっかりと踏まえながら一つでも前進していけば、日本にも元気を与えられるのではないかと思う。

【辻田氏（岩沙構成員代理）】

- 参考例として、隠岐島の海士町では、通販サイトをしっかり作り、離島から本土への配送時には急速冷凍機を活用することで、鮮度の問題に対応しつつ、ブランディングを成功させている。

- 離島キッチンという店舗を神楽坂に出店しており、他の離島の食材も扱っているということなので、こういった取組も活用しつつ、フェイスブックなどのSNSをより有効に活用すると良いと思う。

【岡座長】

- 現場で話を聞いたり見たりすることによって、理解が深まるということを改めて感じた。一番の課題は人材不足であるが、まさに村を挙げて人材確保の戦略を立て、その人材を有効活用して、地産地消、地産他消で村を活性化してほしい。
- 観光資源を最大限に活用するという村の戦略とうまく結びつけることで、知名度を上げ、来島者を増やし、特産品がよく売れていく、という成長の好循環に期待したい。久米島モデルからバージョンアップした三島村モデルをぜひ実現して欲しい。
- 久米島モデルと同様、このプロジェクトの成功によって、ツバキの実を集める高齢者の所得増にもつながり、それがこの三島村全体の活力になる。我々に対しても、要望があれば、遠慮なくご連絡いただきたい。

以上